

# 東北地方整備局 津軽ダム建設事業



下流から望む

## 安全と発展支える 新たな“水がめ”



ダムと貯水池全景

世界自然遺産「白神山」の青森県側玄関口に位置する西目屋村で、国土交通省東北地方整備局が建設を進めている津軽ダム建設事業は、安藤ハザマ・西松建設JVの施工で、2016年2月の試験湛水開始に向けた大詰め作業が鋭意進められている。目屋ダムの再開発事業として築造される津軽ダムの諸元

は、ダム高が97.2m、堤頂長342.0m、堤頂幅9.0m、堤体積75万9000立方m。洪水調整、かんがい用水・水道用水・工業用水、水力発電など、治水・利水にフル活用されるとともに、観光面でも貢献する不可欠な社会基盤として、地域の期待を一身に集めている。

など、工程上、1つのヤマ場を迎えることになるが、現場乗り入れから7年にわたる経験と知識で“最後”の厳しい冬を乗り越える構えだ。

16年にはほかにも、下流部への吊り床板橋関係、右岸天端の跡地整備、減勢工左右岸の跡地整備など、周辺の環境や景観にかかわる工事もある。「多くの人にダムを見て喜んでほしい。そして完成すれば下流域で発生していた洪水被害や渇水を減らし、地域に貢献できる」と語る中上所長は「ずっと協力してくれた」という西目屋村と村民に感謝の思いを込めて、竣工までの歩を、丁寧に、そして着実に進めていく。

### 目屋ダムの再開発事業として築造



津軽ダムは、岩木川水系若木川の青森県津軽郡西目屋村に建設を進めている。洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水および工業用水の供給、発電を目的とした堤高97.2mの重力式コンクリートダムであり、目屋ダム(1960年完成、建設省直轄施工)の直下流60mに再開発事業として建設しています。

国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所長  
鈴木 勇治

### 地域と連携し、着実に事業進展

は、目屋ダムと60mの近距離であり、目屋ダムの機能に影響を与えないよう、限られたスペースで仮設設備の配置に工夫するとともに、原土採取時や基礎掘削時には目屋ダムの挙動監視や火薬量を抑えた発破などにより目屋ダムへの影響を回避しました。また、転流工については、津軽ダムの上流には、93年に

体コンクリート打設完了、同年10月付普通道全線が開通、試験湛水に向けて、目屋ダムのゲート等の撤去工事、目屋ダム発電水路の閉塞工事、ダム管理に必要なゲート等機械設備や電気設備工事を実施しています。津軽ダムの施工に当たって、上流目屋ダムの放流水処理のために、堤内仮排水路を切り替えるがら本体コンクリートの打設を進める半川縮切方式を採用しています。ダム本体のコンクリート打設工法は、多くの大規模ダムで採用されているRCD工法、堤頂部や下位標高部では

ります。洪水時の濁水を効率的に排出させる「コンジットゲート」、貯水位低下時に湖岸に堆積した微細堆積土砂の露出を防ぐ「水質保全施設」、上流の清澄な流水を下流に放流できる「清水バイパス」を設置しています。また、貯水池周辺に存在する

### 2月の試験湛水へ作業急ピッチ

国土交通省東北地方整備局が、既存の目屋ダムに代わる青森県津軽地方の安全と発展を支える新たな“水がめ”として建設を進めている津軽ダムが、2016年度内の竣工に向けてラストスパートに入っている。



ダム全景

同ダムの本体工事は、安藤ハザマ・西松JVの施工で08年11月に着工した。10年5月から本体コンクリート打設を開始し、同年10月に定礎を迎え、翌春から本格的な打設に入る予定だったが、東日本大震災により約3か月にわたって工事が中断された。この遅れを取り戻すため、高速施工を可能とする「巡航RCD工法」を採用したことで、豪雪地帯のハンディをも克服し、約4年4か月という短期間で、14年8月に打設完了にこぎ着けた。

その後、東北電力の水力発電実施に伴う土木・建築工事や、洪水時の濁水早期排出のためのコンジットゲート関連工事も完了。現在は、JVスタッフを含めた約180人体制で、16年2月を予定している試験湛水開始に向けて、堤体の仕上げ工事と地すべり対策、清水バイパス工事とともに、作業構台の撤去など閉塞に向けた作業に並行して取り組んでいる。ダムの基本性能にかかわる工事が概ね佳境

津軽ダム本体建設工事 安藤ハザマ・西松特定建設工事共同企業体



代表取締役社長 野村 俊明  
執行役員 志賀 正延  
東北支店長

本社 東京都港区赤坂6-1-20  
電話(03)6234-3600  
東北支店 仙台市青葉区片平1-2-32  
電話(022)266-8111



代表取締役社長 近藤 晴貞  
東北支店長 菅原 秀明

本社 東京都港区虎ノ門1-23-1(虎ノ門ヒルズ森タワー10階)  
電話(03)3502-0232  
東北支店 仙台市青葉区大町2-8-33  
電話(022)261-8161